

吉川の風

東広島市立吉川小学校

令和6年8月27日

No.10 校長 沖 秀治

今までとはちがった自分を

同じ僕だけど

背がぐんと伸びたって？

顔つきが急に

大人っぽくなったって？

僕は僕確かに

夏休み前の頃と

同じ僕なんだが…

僕の心の深いところに

夏休み前の頃の

僕ではない僕が

いつの間にか住み着いていて

向かい慣れた

この机の上なんかでは

知ることのできない何かを

さかんにささやくんだ

僕は僕確かに

夏休み前の僕と

同じ僕なんだが…



吉川小学校の教室に、子ども達の元気な声が帰ってきました。

久しぶりの学校、久しぶりの友達との再会。子ども達の様子を見ていると“さあ、がんばるぞ！”というやる気が伝わってきて、とてもうれしく思いました。(まだ、本調子ではないかなあと思う子もいましたけど…(^;)

さて、前期の後半がスタートする今、子ども達の中に「夏休み前の僕ではない僕」が住み着いているのでしょうか。

“人が成長する”ということは“自分の中に今までとは違った自分を発見する”ということ。では、そのためにはどうしたらよいのでしょうか。

その答えを見つけて

「今までとは違う自分が住み着いているよ！」

前期が終わる時、こう胸をはって言えたら素晴らしいと思います。

子ども達一人一人の成長した姿が見られるように、前期後半も教職員一同、一致団結して子ども達を育ててまいります。



北広島市との教育交流

夏休みに、北海道北広島市と本市の小中学校による教育交流がありました。吉川小学校は北広島市の西部小学校と姉妹校の縁組をしており、8月7日の登校日には神野(じんの)あすかさんを迎え、また8月21日からは西本紡君が北広島市に行って交流をしました。

歓迎セレモニーで、高学年が吉川太鼓の演奏を披露しましたが、神野さん曰く、西部小学校（北広島市）では和太鼓の演奏はしていないようで、「迫力があってすごいですね。」と驚いていました。一方、西部小学校ではグラウンドの傾斜を利用して、冬にはスキーマの授業を行っているそうで、本校児童もまた驚いたり、うらやましがったりしていました。

こういったそれぞれの学校の特徴やよさを学び合うことで、子ども達の視野が広がるとともに、北広島市の子ども達との親睦が深まっていくことと思います。よい経験ができた教育交流でした。



～9月に誕生日を迎える児童を紹介します～



9月に誕生日を迎える児童に、次の内容でインタビューをしました。

- ① 夏休みの思い出 No.1 ② 好きな花 ③ 将来の夢 ④ お家の方へ一言

2年生 光川 凜さん

- ① 吉川夏祭りで花火を見たこと。とてもきれいでした。
- ② コスモス 色がきれいだから。
- ③ 看護師
- ④ いつもご飯を作ってくれたり、お世話をしてくれたりしてありがとう。

4年生 信永 龍星さん

- ① 江波からひいおばあちゃんが来て、お店で焼き肉を食べたこと。
- ② バラ きれいだから。
- ③ 野球選手（カープ）
- ④ 夏休みにいつも早起きをしておいしいお弁当を作ってくれてありがとう。

～夏休みの宿題 結果発表！！～

夏休みに私から出していた宿題「校長先生よりも黒くなる」（任意）の結果です。

勝ち 1年 菅信君 2年 田島君 5年 田島君 宮迫君

微妙 2年 田村さん 3年 小川君 5年 島原君 土屋君 6年 菅信君

今回は腕で勝負しましたが「足だったら勝てるのにい」と残念がる子がいたので、来年は足で勝負したいと思います（笑）。